



公益財団法人

京都府国際センター

Kyoto Prefectural International Center

NEWS

Vol. 94

2021年 秋号

<特集> 災害時の情報発信 ～安全・安心な「多文化共生」のまちづくりのために～

災害時に日本に暮らす外国人住民は、日本語を十分に理解できず情報を得られない「言葉の壁」と、避難行動や避難所の存在を知らないなどの「文化の壁」により必要な支援を受けられないおそれがあります。

国籍や民族が多様化している京都府において、外国人住民が災害時に適切な行動をとれるよう、災害情報や防災知識を正しく伝えることは、地域社会において災害という難局を力を合わせて乗り越えるために欠かせない取り組みです。

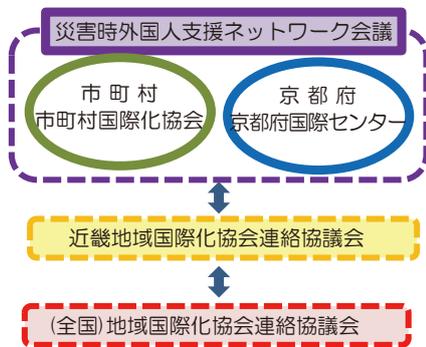
京都府国際センターでは災害時に外国人住民が直面するこれらの壁を取り除き、速やかに安心を届けられるよう、支援体制の構築に努めています。今号では、当センターと府内市町村での取り組みをご紹介します。

京都府国際センターの取り組み

① 支援体制づくり

府内の外国人住民に対する災害時支援を円滑に行うため、「京都府災害多言語支援中核センターの設置・運営に関する協定」を京都府と締結しています。

また、市町村、市町村国際化協会等と定期的に意見交換の場を設け、「顔の見える」関係づくりに努めるとともに、近畿各府県・政令市の地域国際化協会とも協定を結ぶなど関係機関との連携も図っています。



② 支援者育成

「災害時外国人サポーター」を随時募集するとともに、スキルアップ研修等を実施しています。また、地域における支援者育成のため市町村・市町村国際化協会等と研修・訓練を実施しています。



③ 防災研修・訓練

市町村や大学、企業、外国人コミュニティ等と共同して、地域の防災訓練や留学生、実習生向けの防災講座を実施し、外国人住民の防災意識の啓発に努めています。



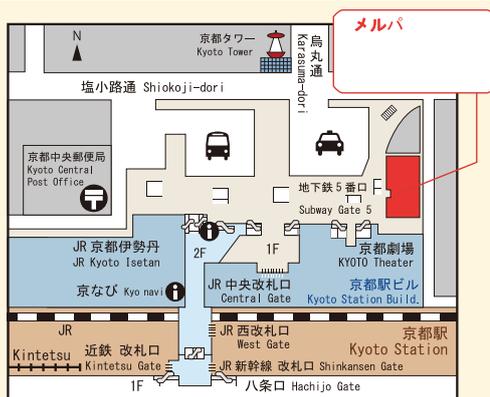
災害時に最も重要になるのは「住民同士のつながり」です。日頃からの声掛けが災害時には必ず役立ちます。

地域で外国人住民を見かけたら、まず挨拶から始めてみてください。

その一言が、異なる文化を受け入れるための一つのステップになり、**地域での防災体制の強化**にもつながっていきます。

目次

■ <特集> 災害時の情報発信	1～3	■ JICA京都デスクの取り組み	4
■ 団体紹介「やさしい日本語」有志の会	3	■ 京都府国際センターからのお知らせ	4



公益財団法人京都府国際センター

〒600-8216 京都市下京区東塩小路町676-13 メルパルク京都B1F (JR京都駅前 北口東側 (京都劇場側))

Tel : 075-342-5000

Fax : 075-342-5050 E-mail: main@kpic.or.jp

www.kpic.or.jp/

facebook www.facebook.com/kpic.kyoto

開館時間 / 午前10時～午後6時

休館日 / 毎月第2・第4火曜日、祝日、年末年始 (12/29 ~ 1/3)

公益財団法人京都府国際センター NEWS Autumn 2021 秋号 第94号

編集・発行 / 公益財団法人 京都府国際センター Kyoto Prefectural International Center

